

令和6年度 第4回美博文化講座へのおさそい

下伊那の旗本と山 —伊豆木小笠原氏を中心に—

江戸時代の幕藩体制下では、主に1万石以上の「大名」と1万石以下の「旗本」「御家人」によって地方の統治が行われていました。

下伊那の旗本、知久家・座光寺家・伊豆木小笠原家の三家は、交代寄合「信濃衆」と呼ばれ、禄高1千石程度の旗本でありながら参勤交代を行うなど大名家に近い待遇を受けました。

本講座では、伊豆木小笠原家等が幕府から与えられていた特徴のある役割について山という切り口から考え、下伊那の旗本への理解を深めてゆきたいと思います。



旧小笠原家書院

令和6年7月7日（日） 午後1時30分～3時

講師：前澤 健（飯田市歴史研究所特任研究員）

会場：飯田市美術博物館講堂

定員：60名 ※予約先着順

受講料：無料

申込方法：お電話（0265-22-8118）にてお申し込みください

お申し込みの際には、1）希望する講座名、2）氏名、3）電話番号をお知らせください

○受付開始：6月21日（金）～（受付時間は9：30～17：00）

○FAX、メールでの受付はできません

○キャンセルのご連絡はお早めをお願いいたします

●同時事業のお知らせ

本講座は、文化トピック展示「伊豆木小笠原家と旧小笠原家書院」（旧小笠原家書院築400周年記念祭実行委員会共催）の付属事業です。併せて、展示もご覧ください（9月1日まで、文化展示室）

（申込・問い合わせ先）
飯田市美術博物館
〒395-0034 長野県飯田市追手町2-655-7
TEL0265-22-8118 FAX0265-22-5252
<https://www.iida-museum.org/>

 iida city museum
飯田市美術博物館